

平成28年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	総務部
部(局)長名	小西 義人
理事名	平田 美恵子（人材育成・女性活躍担当）

【基本姿勢】

人事施策については、人事評価制度の着実な推進や適材適所の人事配置、人材育成を行うとともに、女性活躍推進法に係る事業主行動計画における目標達成に向けた取組を進めます。

契約制度については、プロポーザル方式による選定について、統一的な基準を作成するとともに、昨年度に引き続き入札等監視委員会を定期的を開催し、答申を受けた内容を取り入れることで、より透明性の高い、公正で、公平な契約制度の確立を図ります。

庁舎管理については、36万市民の市役所としてセンスのある市庁舎となるよう取組めます。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成28年度 達成状況
1	吹田らしさを創造する人材育成、各自のライフステージに応じたワークスタイルの実現	B
2	透明性の高い、公正・公平な契約制度の確立	A
3	市庁舎のセンスアップ	A

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 1	吹田らしさを創造する人材育成、各自のライフステージに応じたワークスタイルの実現
--------	---

全体の達成度

B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	人間力の高い多様な人材を確保し、適材適所の配置を行うとともに、人材育成を図ります。
---------------------	---

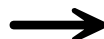
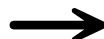
活動目標
本年度からの人事評価制度の周知を図るとともに、着実な推進に努めます。
職員の資質、能力に基づいた適材適所の人事配置を行うとともに、人材育成、組織活性化の観点から効果的なジョブローテーションを行います。
市が掲げる政策の実現力を高めるため、職員の政策立案力が高まるよう人材育成を図ります。
女性活躍推進法の施行に伴い策定した事業主行動計画の周知を図るとともに、目標達成に向けた取組を進めます。



具体的な取組実績
平成28年度から人材育成を中心とした新たな人事評価制度を導入し、制度の着実な推進のため、4月に制度の説明会を評価実施前の1月には評価者を対象とした研修を開催しました。
異動、昇任等の希望申告制度の活用や庁内公募等による派遣研修等、職員のチャレンジ精神を活かすことができる人事配置に努めました。また、長期在課職員については、当該職員のキャリアアップと組織の活性化を図るため、積極的に異動を行いました。
新公会計研修、「契約事務」と「決裁権」研修、マイナンバー制度研修、債権管理研修、コンシェルジュ研修、ユニバーサルマナー研修、ワーク・ライフ・バランス研修など幅広く実施しました。
意識改革のための市長メッセージの発信、ワーク・ライフ・バランスに関する管理職研修の実施、人事評価の評価シートへの反映、事務改善案の集約及び周知、長時間労働対策としての定数管理の是正、ノー残業デーの周知、会議のあり方見直し案の周知、女性職員向けのキャリアデザインに関する研修の実施、育児休業取得者を助成した職員体制の整備などを実施しました。



達成目標
人事評価制度を実施することで、職員にセルフマネジメントへの「気づき」を与え、自ら成長する「自育」を促します。
組織管理と連携した役職者の効果的な配置と役職者比率の適正な管理を行うとともに、資質や能力に基づく、より客観性を高めた人事配置制度を構築します。
人材育成の基本である「自育」をさらに促すため、資格取得や派遣研修などの支援を行い職員個々のスキルアップを奨励します。



達成状況	達成度
職員一人ひとりの「職員力」の向上に重点をおき、職員の能力が発揮された行動・業績を評価する業績評価と能力評価を実施しましたが、より実効性のある制度となるよう改善していくことが必要です。	B 一部達成
平成29年4月の定期人事異動においては、役職者の育成の視点も踏まえながら、より適正な役職者比率を目指した人事配置を行いました。府内中核・特例市比較ではさらに適正な管理を進める必要があると考えています。	B 一部達成
業務に必要な資格取得や知識取得のため、のべ約580名の職員を研修に派遣しました。また、自主研修として資格取得をはじめ約110名の支援を行いました。	B 一部達成

女性活躍推進法に係る特定事業主行動計画の初年度の取組として、職員全体の意識改革を図る具体的内容を実施しながら、ワーク・ライフ・バランスの推進を重点的に行います。



特定事業主行動計画に掲げる複数の取組について、実施を進めてまいりました。管理的地位に女性が占める割合は、目標数値に少し及びませんが、各役職段階に占める女性職員の割合については、現時点で達成しております。

B

一部達成

総合評価・総括

人事評価制度の運用やジョブローテーション、職員研修の実施などの取組により人材育成に努めました。具体的な取組としては概ね達成していますが、吹田らしさを創造する職員育成として、さらに具体的に取組んでいく必要があります。

また、定期人事異動においても役職者の育成の視点も踏まえながら、より適正な役職者比率を目指した人事配置を推し進めました。

健全なワーク・ライフ・バランスを保ったワークスタイルの実現においては、意識改革をはじめとした取組を進めました。しかしながら、時間外勤務時間数や休暇取得日数等につきましては、特定事業主行動計画の目標達成に向けて改善が必要であり、次年度は重点的に取組む必要があります。

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 2	透明性の高い、公正・公平な契約制度の確立
--------	----------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	入札やプロポーザル方式による選定について、より透明性を高めるとともに、公正・公平な制度の確立を目指します。
---------------------	---

活動目標
プロポーザル方式についての統一的な基準づくりに取り組みます。
入札及び契約の内容の透明性を確保するため、入札等監視委員会を定期的を開催します。

具体的な取組実績
庁内意見を基にプロポーザル方式の実施に関するガイドラインを策定し、平成29年1月24日付で施行しました。
平成28年度に定例会議を3回開催し、平成27年10月から平成28年9月までに締結した予定価格250万円以上の契約から案件を抽出し、審議を行いました。また、プロポーザル方式実施の適否を判定するための会議を1回開催し、平成29年度に実施予定の6案件について審議を行いました。

達成目標
プロポーザル方式による選定について、統一的な基準に基づき公募等を行うことにより、透明性の高い、公正・公平な制度づくりを行います。
入札等監視委員会からの答申内容を取り入れ、より公正・公平な入札契約制度を構築します。

達成状況	達成度
プロポーザル方式の実施に関するガイドラインに基づき、吹田市入札等監視委員会及び庁内会議において、プロポーザル方式実施の適否について審議しました。また、実施が適当と判断された案件については、市ホームページにプロポーザル案件情報のページを設け、募集状況を一覧で閲覧できるようにしました。	A 達成
平成28年度に答申を受けた内容のうち、建設工事の一般競争入札における受注制限件数の緩和や、除草・剪定業務における最低制限価格の設定について、平成29年度から実施することとしました。	A 達成

総合評価・総括
<p>これまで統一的な基準がなかったプロポーザル方式の実施に関してガイドラインを策定し、プロポーザル方式の対象業務や手続き方法について明確に決めました。このガイドラインに基づき、プロポーザル方式実施の適否について第三者の視点から判断するため、吹田市入札等監視委員会及び庁内会議において審議を行いました。今後、庁内に同ガイドラインを周知し、透明性の高い、公正・公平な制度となるよう運用していきます。</p> <p>入札等監視委員会については、定例会議及びプロポーザル方式選定の会議を開催し、答申を受けました。答申に基づき平成29年度から、建設工事の一般競争入札における競争性確保のため、一部の工種で事業者が受注できる件数を拡大するとともに、低落札率が見られる除草・剪定業務について、最低制限価格を設けることとしました。今後も、入札等監視委員会からの答申内容を取り入れ、より公正・公平な入札契約制度を構築していきます。</p>

部(局)名	総務部
-------	-----

重点課題 3	市庁舎のセンスアップ
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	庁舎配置について狭隘化の解消を図りつつ、市民にとって快適でセンスのある市庁舎となるよう、効率的な部局配置の改善に努めていきます。
---------------------	--

活動目標
庁内の案内表示方法を変更するとともに、プライバシーの保護に配慮されたものとなるよう、市民課窓口を改善します。

具体的な取組実績
室課名表示をわかりやすくし、来庁者が多い窓口については、快適に手続きができるよう改善しました。

達成目標
庁内の室課名表示や業務案内表示などのデザインを、組織改正に合わせてカラーリングなども含め、より分かりやすいものに変更します。
市民が、分かりやすく、快適に市庁舎を利用できるようにする。

達成状況	達成度
室課名表示からどのような業務を行っているかイメージしやすい業務内容表示や窓口番号の最初に階層を表示するように改め、また、来庁者が多く訪れる窓口については色分けするなど改善しました。	A 達成
市民課をはじめとする来庁者が多い窓口については、プライバシー保護にも配慮したカウンターを設置し、快適に手続きできるよう改善しました。 市民ロビーをリニューアルし、カフェテーブルを設置するなど、待ち時間等に憩える空間を創出しました。	A 達成

総合評価・総括
来庁者にとって、分かりやすく、すっきりとした案内表示の整備や市民対応窓口に、プライバシー保護に配慮したカウンターの設置、また、待ち時間に憩える空間の創出など、市役所のデザインアップを図りました。